

# 「市民社会創造の軌跡を未来につなぎます」

## 30年前の判断が、今日に資料が残るきっかけでした

ボランティア・市民活動情報資料センターの起源は、東京ボランティア・市民活動センターの前身である東京都ボランティア・コーナー（1973年開設）内に設けられた図書スペースにさかのぼります。コーナーでは、ボランティア活動に関する資料を集めていたが、次第に量が増え、スペースにも限界があらわれてきました。しかし、当時のスタッフが「資料は処分せずに、残していこう」と判断し、独自の分類による収集保存を開始したことによって、今日に数多くの貴重な資料が残ることになりました。

## ボランティア・市民活動の軌跡を残すセンターとして

現在の情報資料センターは、分類やリファレンス、インターネットによる検索システムを整備して2003年3月、東京ボランティア・市民活動センター内のスペースとしてリニューアルオープンしました。東京都内や全国のボランティア・市民活動の歩みを記録した資料や、NPO・非営利組織に関する研究論文、海外文献など約15,000点を開架するスペースとして、多くの人びとにご利用いただいています。（初回利用登録料/500円）

## 社会福祉の貴重書も保存しています

情報資料センターには、社会福祉に関する貴重書が多数保管されているのも特徴です。ボランティア活動や市民活動が人びとの生活をささえるために誕生してきた経緯は、諸制度が創設される以前の社会福祉の動向と類似する面も少なくありません。また、戦前・戦後の地域社会やコミュニティをあらわした調査文献は、当時の日本社会の様子をあらわすだけでなく、今日の私たちにも数々の示唆を与えてくれる存在です。

## 情報誌ネットワークとリンクしています

ボランティア・市民活動・NPOを応援する情報誌「ネットワーク」は、毎回、たくさんの事例や関係者のインタビューなど豊富な情報を誌面にまとめ、隔月でお届けしています。この中では、情報資料センターの資料を手がかりにボランティア・市民活動の歴史検証を行っており、関係者の方々より好評をいただいています。どうぞ購読ください。（年6回/隔月奇数月発行/年間ご購読料3,600円・一冊600円）

## みなさまのご協力でセンターをささえてください

ボランティア活動や市民活動が市民に身近で、参加しやすい活動として根づくように、こうした情報提供活動に取り組んでいます。情報資料センターと、情報誌「ネットワーク」をささえてください。

東京ボランティア・市民活動センターのサポーター会員としてご協力ください。ご協力は1口3,000円よりお受けしております。ご協力いただきました方には情報資料センターの利用カード（2口以上）、情報誌ネットワーク年間無料（3口以上）の特典がございます。

〔サポーター会員についてのお問い合わせは〕 **03-3235-1171**

貴団体の発行の図書資料や研究紀要などがありましたら、情報資料センターまでお送りいただきますようご協力お願い申し上げます。

東京ボランティア・市民活動センター

### ボランティア・市民活動情報資料センター

（東京ボランティア・市民活動センター内）

〔でんわ〕 03-3235-1171

〔ファックス〕 03-3235-0050

〔ホームページ〕 <http://www.tvac.or.jp/>

〔開所時間〕 火曜～土曜 9時～21時

日曜 9時～17時（月曜・祝日休館）

※センター内での閲覧のみ行っています（貸出は行っておりません）

# 東京 レポート

## 『市民社会』創造の

### 軌跡を未来につなぐ

ボランティア・市民活動情報資料センターがオープン！



情報資料センター内部の様子



めっせ・TOKYO 2003の参加者など多数の方に見守られてテープカットが行われた

す。この情報資料センターが広く利用されることを願うとともに、こうした資料に残されている市民たちの軌跡を振り返りながら、市民社会の創造にむかつて進んでいきたいと思っています」

関係者のあいさつの後、多くの方々に見守られながら、仲村委員長、吉澤前所長、そして、資料の収集・分類に大きく貢献した情報担当専門員の故内藤美登里（ないとうみどり）さんのご家族によるテープカットが行われました。

TVACでは、今後、情報資料センターにおける図書資料のさらなる充実に取り組みながら、今まで市民たちの歩んできた道のりを多くの市民たちに伝えつつ、その熱い思いや夢を未来につなげていきたいと思っています。

## 東

京ボランティア・市民活動センター（以下、TVAC）では、

書資料などの文献を約一万三〇〇〇冊保管し、三八の分類に基づいて開架しています。

ボランティア・市民活動に関する文献を集め、広く市民の皆様へ提供する拠点として「ボランティア・市民活動情報資料センター」（以下、情報資料センター）を、さる二月一日（土）に開設しました。

当日は、ボランティア・市民活動の推進と、情報資料センターの設立に向けてご尽力くださった方々にお集まりいただき、オープニング・セレモニーを『めっせ・TOKYO 2003』の特別企画として開催しました。

とんどありません。この情報資料センターが、日本におけるボランティア・市民活動に関する文献研究に貢献できる大きな社会資源となることを目指していききたいと思えます」と、情報資料センターの存在意義と役割を明らかにしました。

当時のスタッフとともに苦勞しながら収集と分類をすすめてきました」と、市民たちの活動に関する情報資料の収集と発信の必要性を強く感じ、努力してきた経緯についてお話がありました。

最後に、TVACの山崎美貴子（やまざきみきこ）所長より以下のようなあいさつがありました。「情報資料センターには、市販の図書だけではなく、市販されていないボランティア・グループや市民活動団体の手作りの資料などもあり、日本におけるボランティア・市民活動の歴史を学ぶ上で貴重と思われる

この情報資料センターは、TVACが二〇年以上にわたって収集してきた都内および全国のボランティア活動の歩みを記録した資料や、市民活動やNPOに関する研究論文、海外資料、社会福祉に関する重要な図

はじめに、TVAC運営委員長 長 仲村優一（なかむらゆういち）、日本社会事業大学名誉教授（より、「わが国にはさまざまな分野のボランティア・市民活動における図書資料を総合的に収集して開架する施設はほ

る東京ボランティア・センターの初代所長である吉澤英子（よしざわえいこ）さん（大正大学教授）からは、「一九八一年の東京ボランティア・センター立ち上げ時より、ボランティア活動の資料を集め、それらの情報を広く発信するセンターを目指して、

最後に、TVACの山崎美貴子（やまざきみきこ）所長より以下のようなあいさつがありました。「情報資料センターには、市販の図書だけではなく、市販されていないボランティア・グループや市民活動団体の手作りの資料などもあり、日本におけるボランティア・市民活動の歴史を学ぶ上で貴重と思われる

#### ボランティア・市民活動 情報資料センター

〔利用内容〕

○図書資料の閲覧

○蔵書検索 など

※利用登録料として、初回利用時に500円をいただきます。ただし、TVACサポーターは無料です。

この情報資料センターを、情報資料の分類に多大なるご尽力をいただきました故内藤美登里さんに捧げます。東京ボランティア・市民活動センター スタッフ・関係者一同